

V. 技術者養成

1. 技術人材養成事業

1-1 技術研修事業

〔目的〕 新製品の開発や生産技術の向上を図るため、企業の技術者や後継者を受け入れて研修する。

研修内容	研修期間	事業所名	担当者
青磁釉の調整	平成 22 年 4 月 1 日～ 6 月 30 日	陶房洛司庵	吉田 英樹
	平成 22 年 7 月 1 日～ 9 月 30 日		
	平成 22 年 10 月 1 日～12 月 28 日		
	平成 23 年 1 月 5 日～ 3 月 31 日		
蛍光 X 線分析の操作	平成 22 年 4 月 9 日	矢崎部品	木須 一正
3次元シミュレーションを用いた石膏型製作の技術	平成 22 年 4 月 14 日～ 9 月 30 日	中島石膏	依田 慎二
粉末 X 線回折装置の操作方法	平成 22 年 4 月 27 日	ネオス	高松 宏行
3D CAD・CAMの技術	平成 22 年 5 月 10 日～8 月 10 日	白山陶器	依田 慎二
	平成 22 年 8 月 11 日～11 月 11 日		
	平成 22 年 11 月 12 日～12 月 28 日		
	平成 23 年 1 月 5 日～3 月 31 日		
走査型電子顕微鏡 (EDX) の操作方法	平成 22 年 5 月 13 日～5 月 14 日	ネオス	狩野 伸自
	平成 22 年 9 月 15 日	アーテック工房	
遠赤外線分光放射計	平成 22 年 7 月 20 日	イネックス (2 名)	山口 典男
陶磁器全般に係わる知識	平成 22 年 7 月 20 日	一龍陶苑 (2 名)	梶原 秀志
石膏型三次元加工機の操作 法習得	平成 22 年 8 月 24 日～11 月 23 日	石膏型組合 陶磁器生地製造業 (12 名)	依田 慎二
	平成 22 年 12 月 7 日～ 平成 23 年 2 月 27 日		
	平成 23 年 2 月 28 日～3 月 31 日		
技能検定事前講習会 「陶磁器の基礎知識」	平成 22 年 8 月 27 日 平成 22 年 9 月 3 日	一般 (7 名) 長崎県陶磁器技能士会 主催	武内 浩一 梶原 秀志
CAD・CAM操作研修	平成 22 年 9 月 1 日～11 月 26 日	筒山太一窯	依田 慎二
粉末 X 線回折装置の操作方法	平成 22 年 9 月 28 日～10 月 7 日	佐世保工業高等専門学校	高松 宏行
細孔分布測定器	平成 22 年 11 月 5 日	コバレントマテリアル	山口 典男
機械ロクロによる成形技術	平成 23 年 1 月 4 日～2 月 28 日	彩雲窯	小林 孝幸
R 型粘度計の操作方法	平成 23 年 1 月 13 日～3 月 20 日	コバレントマテリアル	阿部 久雄
遠赤外線放射量の測定方法	平成 23 年 2 月 14 日～2 月 18 日	石丸陶芸	山口 典男
陶磁器に関する基礎知識	平成 23 年 3 月 14 日～3 月 31 日	アイユー	梶原 秀志
分光測色計操作研修	平成 23 年 3 月 22 日	ツジデン	吉田 英樹

1-2 セミナー事業

〔目的〕 技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るためのセミナー等を実施する。

(1)

テーマ	第1回「クレーム対応セミナー」ークレームの種類による適切な対応ー		
期 日	平成22年11月10日		
概 要	お客様からの「クレーム」への対応について、適切なクレーム対応をするためにクレームの種類について学び、お客様の状態について適切な対応術を学ぶ。		
講 師	田中 秀夫氏 (インソース)		
受講者	45名	担当者	陶磁器科 河野 将明

(2)

テーマ	環境セミナー		
期 日	平成22年11月18日		
概 要	地球環境問題を克服するためには、これまでの生産プロセスを一新していく必要がある。本講演では、水浄化環境技術によるリンやフッ素などを再資源化と、今後の化学プロセスの方向性に関して、マイクロチャンネルを有する新規な反応器を用いた新しい高効率反応操作法などの紹介があった。		
講 師	前 一廣氏 (京都大学 工学研究科化学工学専攻)		
受講者	18名	担当者	研究開発科 永石 雅基

(3)

テーマ	第2回「クレーム対応セミナー」ークレームケーススタディ実践編ー		
期 日	平成22年11月19日		
概 要	お客様からの「クレーム」への対応について、実践的なケーススタディーを実施し、クレーム対応について身をもって学ぶ。		
講 師	田中 秀夫氏 (インソース)		
受講者	26名	担当者	陶磁器科 河野 将明

(4)

テーマ	第1回インターネットホームページ活用セミナー		
期 日	平成22年12月6日		
概 要	インターネット・ホームページで売上が上がるまでのプロセスを学ぶ。ホームページと紙媒体の違いを理解する。		
講 師	久保 圭樹氏 (ネットビジネスエージェント 代表)		
受講者	27名	担当者	陶磁器科 河野 将明

(5)

テーマ	第2回インターネットホームページ活用セミナー		
期 日	平成22年12月7日		
概 要	たくさんあるホームページのなかで、失敗しないホームページの作り方やホームページの運営、インターネット活用のポイントについて学ぶ。		
講 師	久保 圭樹氏 (ネットビジネスエージェント 代表)		
受講者	24名	担当者	陶磁器科 河野 将明

(6)

テーマ	陶磁の道行きー販売・製作の現場からー		
期 日	平成22年12月11日		
概 要	世界のマーケットの最新情報。世界中で注目されるアジアのマーケット、トップブランドの最新作やディスプレイなど、ものづくりにおけるワールド・ワイドな世界を視点にした販売の現場を紹介。		
講 師	福田 典子氏 (ドルチェ・ヴィータ 代表)		
受講者	9名	担当者	陶磁器科 依田 慎二

(7)

テーマ	波佐見・三川内にしかできないコト		
期 日	平成22年12月15日		
概 要	陶磁器産地である波佐見、三川内の長所を抽出。どのような戦略を立てればよいのかを、ワークショップ形式で実施。両産地の陶磁器卸売業および窯元の商品企画やデザイン担当者などを対象に開催した。		
講 師	立川 裕大氏 (t. c. k. w 代表)		
受講者	30名	担当者	研究開発科 桐山 有司

(8)

テーマ	低炭素社会実現に向けた新たな取り組み”カーボンフットプリント”		
期 日	平成22年12月22日		
概 要	低炭素社会に向かって進んでいく中で、注目されている二酸化炭素の排出量を評価するカーボンフットプリント制度とその現状について講演を行なった。		
講 師	壁谷 武久氏 (産業環境管理協会)		
受講者	20名	担当者	研究開発科 山口 典男

(9)

テーマ	陶磁の道行き－販売・製作の現場から－		
期 日	平成 23 年 1 月 14 日		
概 要	日本のマーケットの最新情報。最新のプレス発表会や雑誌ページや、これからの傾向を分析して紹介。		
講 師	福田 典子氏 (ドルチェ・ヴィータ 代表)		
受講者	10 名	担当者	陶磁器科 依田 慎二

(10)

テーマ	EDX面分析の最新手法		
期 日	平成 23 年 2 月 10 日		
概 要	走査型電子顕微鏡のエネルギー分散型X線分析装置について、座学と実習により、試料の断面組織や表面の元素分布を調べる手法について具体的に紹介。		
講 師	鈴木 実氏 (サーモフィッシャーサイエンティフィック スペシャリスト)		
受講者	8 名	担当者	研究開発科 狩野 伸自

(11)

テーマ	島田文雄東京芸術大学教授講演会 「日本の陶磁器文化の展望－国際陶芸教育交流をとおして－」		
期 日	平成 23 年 1 月 25 日		
概 要	東京芸術大学陶芸科における陶芸教育の紹介		
講 師	島田 文雄氏 (東京芸術大学教授)		
受講者	約 50 名	担当者	武内 浩一、波佐見焼振興会

(12)

テーマ	長崎県産業労働部長講演会		
期 日	平成 23 年 2 月 16 日		
概 要	新しい「長崎県産業振興ビジョン」について		
講 師	上村 昌博氏 (長崎県産業労働部長)		
受講者	約 50 名	担当者	武内 浩一、波佐見焼振興会

1-3 教育訓練(セミナー事業)

〔目的〕 企業における生産活動を支援することを目的として、企業の従業員を対象に、窯業原料、製造技術、品質管理等に関するセミナーを実施

テーマ名	講師	概要	実施日(場所)	受講者数	担当者
陶磁器用石膏型の製型技術について	梶原 秀志	企業の従業員に対して、原型、捨型、ケース型、使用型の作製法を実技指導した。	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	172	梶原 秀志
CADソフトウェア技術の習得	依田 慎二	3次元CAD及び3次元加工機を活用した石膏型製造に関する知識や技術について実技指導した。	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	1	依田 慎二
陶磁器製造の効率化について	梶原 秀志	陶磁器製造を効率的に行う手法について解説した後、各工程の作業において、どのような「無理」、「無駄」、「むら」があるかを従業員に抽出してもらい、それをなくす方法について、従業員と討論した。	平成 22 年 5 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	186	梶原 秀志
鋳込み成形技術について	小林 孝幸	企業の従業員に対して、圧力鋳込み成形法や排泥鋳込み成形法について実技指導した。	平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日	5	梶原 秀志

1-4 技術交流会

テーマ	長崎無鉛絵具の開発（長崎県陶磁器上絵付協同組合）				
期 日	平成 22 年 4 月 23 日、平成 22 年 5 月 18 日、平成 22 年 6 月 8 日 平成 22 年 6 月 23 日、平成 22 年 6 月 25 日、平成 22 年 9 月 22 日 平成 22 年 10 月 6 日、平成 22 年 10 月 26 日、平成 22 年 12 月 10 日 平成 23 年 1 月 21 日、平成 23 年 3 月 17 日				
概 要	環境に配慮した無鉛上絵具の開発のため、検討会議での情報交換や絵付け試験を実施した。				
参加者	のべ 95 名	担当者	陶磁器科 梶原 秀志、吉田 英樹		

2. 学生実習(インターンシップ等)受入

(1)

実習生	県立長崎西高等学校(5名)
期 日	平成22年11月15日、12月6日、平成23年3月4日
実習内容	岩石薄片の作製、粉末X線回折
担当者	武内 浩一、吉田 英樹、高松 宏行

(2)

実習生	県立長崎工業高等学校(40名)
期 日	平成22年11月15日
実習内容	産地の情報とセンターの役割、構造解析、新しい技術と研究開発
担当者	振角 俊一、阿部 久雄、永石 雅基、秋月 俊彦、吉田 英樹、河野 将明 山口 典男、狩野 伸自、小林 孝幸

(3)

実習生	波佐見町立波佐見中学校(4名)
期 日	平成22年11月30日～12月2日
実習内容	石膏型製作、陶磁器製造技術および鋳物の分析技術に係わる実習
担当者	永石 雅基、河野 将明、狩野 伸自、小林 孝幸、山口 英次

(4)

実習生	県立波佐見高等学校(160名)
期 日	平成22年12月9日
実習内容	新しい技術の研究や陶磁器産業の現状についての講義及び分析装置などの見学
担当者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、永石 雅基、桐山 有司、秋月 俊彦 吉田 英樹、河野 将明、山口 典男、狩野 伸自、依田 慎二、高松 宏行 小林 孝幸、山口 英次

(5)

実習生	時津町立鳴鼓小学校（47名）
期日	平成23年2月4日
実習内容	陶磁器製造工程、新素材・リサイクル技術、デザイン開発
担当者	武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、吉田 英樹、河野 将明、狩野 伸自 依田 慎二、小林 孝幸

(6)

実習生	九州文化学園調理師専修学校（22名）
期日	平成23年2月22日
実習内容	センター概要、陶磁器の製造工程、製造工程見学、デザイン開発見学
担当者	振角 俊一、武内 浩一、阿部 久雄、梶原 秀志、桐山 有司、小林 孝幸